

● 教会の見えるチャペルの鐘展望公園

SAKITSU  
HILLTOP  
PARK

碧さを湛える天草灘。

その入り江にある小さな漁港。

崎津地区は、

ひっそりとした静かな海の町であるとともに  
江戸時代よりキリスト教を信仰篤く守ってきた  
キリシタンの町である。

人々の暮らしの中に溶け込んで佇む崎津教会堂から、  
505段の石段を登ると東シナ海を見渡すように、  
鐘楼がそびえている。

対岸の道路から望む町は、

さながら風景画のような佇まいを見せている。

Kumamoto Artpolis

K・A・P

くまもとアートポリス

熊本県

くまもとアートポリス事務局  
熊本県土木建築課 〒862-8570 熊本市水前寺6-18-1  
☎096-383-1111 (6215)





● 建築概要

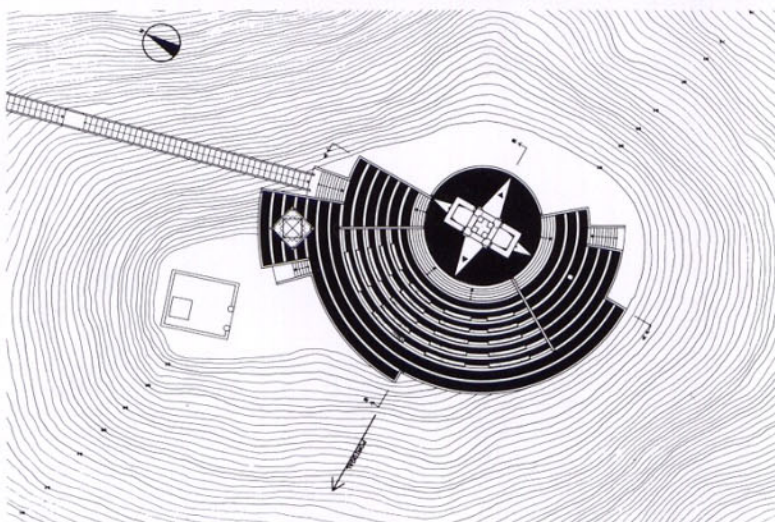
展望公園の平面形状は漁村のイメージを魚の形状で構成し、できるだけ現状の地形や原生の植物を活かすようにデザインした。

チャペルのデザインは河浦町がキリシタン発祥の地であることから、木製の十字架をシンボルとした。十字架を中心とした円形ステージの前には、約130人程度座れるベンチがあり、休憩、屋外礼拝、結婚式、集会、コンサートなど多目的に利用できる機能を持たせた。

天然檜材の巨大な十字架は時の流れとともに自然と融合し、洋鐘の音は定時にこの周辺に響きわたり、ランドマークとして永く人々に語り継がれることを願う。

● 建築データ

名称／教会の見えるチャペルの鐘展望公園  
 所在地／天草郡河浦町崎津字村上295  
 主要用途／公園  
 事業主体／河浦町  
 設計者／梅田正徳＋スペースデザイン設計事務所  
 施工者 展望広場／大昌建設  
           遊歩道／大宝建設、北野建設  
           ポケットパーク／竹下組  
           便所／小山建設  
           電気／天草設備  
           給排水衛生／脇上設備  
 敷地面積／652㎡(展望広場部分)  
 建築面積／41㎡(四阿、便所)  
 延面積／41㎡(四阿、便所)  
 鐘楼高さ／15.48 m  
 階段／505段  
 構造／鉄骨造(鐘楼)  
 仕上／桧板貼(鐘楼)  
 施工期間／1991年10月－1993年3月  
 総工事費／392百万円



配置図



● 建築家プロフィール

梅田 正徳 (うめだ まさのり)

- 1941年 神奈川県生まれ
- 1962年 桑沢デザイン研究所卒業
- 1967年 A&PGカスティリオーニ事務所入所
- 1970年 オリベッティ社コンサルタントデザイナー
- 1981年 メンフィスに参加
- 1986年 ユーメタデザイン設立

● 主な作品

- メンフィスの家具「俵屋」、エドラ社の椅子「花」シリーズなど28の作品が世界屈指の美術館に永久保存されている
- 1968年 第1回ブラウン大賞
  - 1990年 日本インテリアデザイナー協会賞  
Gマーク公共空間部門大賞